

令和7年度 自己評価・学校関係者評価 結果公表シート

香芝市立認定こども園真美ヶ丘東幼稚園

1. 本園の教育目標

○ 心豊かでいきいきとした子どもを育てる

【具体目標】

- ・心身ともに健康で、明るく元気な子どもを育てる
- ・自ら意欲的に遊びを創造していける子どもを育てる
- ・豊かな感性を持ち、喜んで表現していける子どもを育てる

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

研究主題 「明日につながるみんなの声」

～ おもしろそう！ やってみたい！ 一人一人が心を動かす環境の在り方について ～

- 「子ども理解」に視点を当てた保育内容の充実に取り組み、職員の資質向上に努める。
- 一人一人の園児が安心して自己発揮できる環境づくりに努める。
- 基本的な生活習慣の確立と規範意識の芽生えを大切にしながら生きる力の基礎を育む。
- 学びや生活の基盤となる資質・能力を意識し、小学校以降の学びにつなげられるようにする。
- 家庭や地域との連携を深めながら教育の推進に努める。
- 災害時などの行動の方法がわかり、安全に気を付けて行動できる力を身に付ける。

3. 評価項目・評価・取組と達成状況

評価項目	評価	取組と達成状況
(1) 保育内容の充実と保育力の向上	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研究主題についての取組として「子ども理解」に視点を当てた保育の振り返りを昨年度に引き続き継続することができた。15分～20分間と時間を決め、クラスごとに時には学年ごとに、職員が園児の育ちや保育の様子を話すことで、一人一人の園児の育ちを再確認したり他の職員の考えや思いを共有したりすることができ、生きる力の基礎となる資質・能力が育まれるために必要な関わりや環境構成について考え実践につなげることができた。 ・今年度から2人担任制になったことで、職員が連携の必要性和難しさを感じる姿も多く見られたが、保育の振り返りの時間を活用し解決につなげていくことができた。日々の振り返りは職員の資質向上にもつながっていることを実感している。
(2) 安心安全な環境づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園児が安心して過ごすことができる園の環境づくりを常に心がけ、職員の様々な気付きや保護者の方、地域の方々の声を受け、できるだけ早急に対応できるようにした。関係機関と連携し、正門の下部やスロープ門の上部に鍵を取り付けたり施錠の確認を職員で徹底したりするなどした。 ・保育中に起きた怪我などの事案について、原因と対応策について職員で必ず共有し事故を防ぐことができるように努めた。多数の職員の共有を図るため、口頭での呼びかけ、ホワイトボードや掲示物で知らせるなど複数の方法を工夫した。9月から看護師が配置されたことにより、園児の怪我、体調不良時に適切な対応ができ、保護者の安心感につながった。 ・園児が「おもしろそう！」「やってみたい！」と思えるような遊びの場の工夫を保育の振り返りから考え、職員で試行錯誤しながら進めることができた。

(3) 地域・関係機関・保護者と連携し地域に根ざしたこども園	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保育所、小学校、中学校との交流を様々な方法で行うことができた。交流前には職員間で事前に打ち合わせをしたり、交流方法の提案をしたりすることができ、互恵性につなげることができたと感じる。天候や感染症拡大防止等の理由で交流が数回中止になることもあったため、来年度につなげたい。 ・地域の老人会の方々にご協力いただき、昔ながらのお餅つきを園児が経験することができた。 ・多様な利用形態の保護者がいるこども園での行事の開催について、年度当初に年間計画を配布したことで、保護者参加がしやすかったというご意見を多くいただくことができた。
--------------------------------	---	---

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価・結果

<ul style="list-style-type: none"> ・園教育目標の「心豊かでいきいきとした子どもを育てる」を職員が常に意識できるように、また保護者の方や地域の方々に知っていただくことができるように、園正門近くのピロティに掲示している。研究主題に迫る方法として保育の振り返りの継続、園内の研修の充実、外部の講師先生を招いての保育研修の実施を行ってきた。その中で園児にどのような力を身に付けさせたいのかというねらいをしっかりと持ち、職員の関わりや環境構成を考えていくことの大切さを明確にすることができた。今後も、保育で大切にしたいことを一人一人の職員が意識しながら、チーム力を高め保育内容の充実に取り組んでいきたい。 ・職員で考えを出し合い、こども園のよさを活かしながら、保護者や地域の方々に親しまれ地域に根ざした園づくりをめざし、園の取組や情報の発信の機会を逃さず行っていくことができるように努めたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
保育内容の充実と保育力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「子ども理解」に視点を当てた保育の振り返りの継続、振り返り方法の工夫 ・「子どもへの関わり方」に視点をあてた研修 ・保育環境の見直し、園児がわくわくする保育環境の創意工夫 ・職員研修方法の工夫
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児保育の充実 ・多様な利用形態の保護者も参加できる絵本の広場、講演会などの実施
地域に根ざした園づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・園の取組や情報の発信の工夫 ・職員が地域を知る機会をもつ

6. 学校関係者評価委員会からの意見と今後の改善について

<ul style="list-style-type: none"> ・情報があふれる社会の中で、様々な経験を積んだり人とのつながりの温かさを感じたりする機会が減ってきている今、幼稚園としてできることは何かを丁寧に考えているのがよく分かる一年であった。 ・職員が働きやすい方法を考え、工夫されていることで、そのよさが園児にもプラスにつながっていることを感じた。 ・ルールにはめていくのではなく、問題点や課題を洗い出してから、柔軟なルールに基づく対処方法を考えられる進め方は素敵だなと感じた。 ・園児たちは先生方を信頼し、生き生きとした園生活を送っていることを感じた。 ・園運営をしていくうえで、様々な分野から意見を取り入れ、園全体で話し合いを持ちながら推進されていた。 ・今年度は職員の増員により、園児の安全面や職員の事務負担の軽減等、様々なメリットがあり、今後も継続していくことを願っている。 ・PTAの協力については、職員数の増員もあり、行事等で保護者の負担の少ない協力体制であったと思われるが、今後も検討が必要になってくると思われる。 ・運動会については、開催日までの練習時の気温は、園児、職員の健康上に影響があると思われる。少しでも現場に負担のないように願っている。 ・先生方の温かさに包まれた素敵な幼稚園であり続けられることを願っている。 <p>○評価委員の皆様方からいただいたご意見をしっかりと受け止め、職員で気持ちを一つにし、園の教育力を高め、園児にとって安心して自己を発揮できる園、また、地域の方に愛される園づくりに努めていきたい。</p>
